

第4回 南海トラフ地震について

南海トラフとは？

愛知、静岡辺りから西日本の下側の海底にあるユーラシアプレートとフィリピン海プレートの境目にある溝状の地形のこと

南海トラフ地震とは？

境界でフィリピン海プレートがユーラシアプレートの下に毎年数センチずつ沈み込んでいきます。

その時にユーラシアプレート的一部分も一緒に引き摺り込んでいます。

限界に達すると反動でユーラシアプレートが戻ろうとして跳ね上がります。この時に発生するのが南海トラフ地震です。

いつ来るの？

- 南海トラフは約100年周期でくる
- 前回から約80年経過している
- 2030~2040年の間に来ると予測されている
- 30年以内の発生確率70~80%

何がヤバいのか

- 範囲：東京から九州の西日本全体
- 経済・産業活動の中心である太平洋ベルト地帯がまるまる収まる
- 地震が2回に分かれる可能性がある
- 富士山の噴火：地震の数ヶ月から数年以内に誘発されて噴火する。連動する形で起こると日本の政治・経済がストップする
- 被災者数想定：6800万人
- 死亡者数想定：32万人
- 7~8割が津波
- 10m以上の津波が来る。一部サイトには34m11階建て相当が来るかもとある
- 救助が全く足りない。
- 避難時に人による雪崩が起きる可能性

備蓄品の用意

- 水、食料、医薬品、簡易トイレ、ラジオ、懐中電灯
- 自宅だけでなく学校や、職場でも用意しておく
- 1ヶ月以上ライフラインが止まる可能性がある

首都直下地震

- いつ来るかは予測できていないが確実に起きるとされている